毎日新聞
平成 21 年 8 月 26 日(水)

人生の節目に
平安衣装いかが
商工会が貸し出し

田辺

田辺市本宮町商工会(泉庄治会長)は、平安衣装の貸し出しや特産品開発を柱とする地域おこしに乗り出す。PRを兼ねた「平安衣装結婚式」の人気も上々という。

全国商工会連合会などによる地域資源全国展開プロジェクトの採択事業で、事業名は「世界遺産熊野古道の資源を活用した着地型プランの開発と全国展開」。同商工会は、「蘇り、導き、癒やし」をテーマに、地元事業者と連携して実施する。

平安衣装の貸し出しは、熊野詣でが平安時代に盛んだったことから計画した。新郎新婦には束帯、狩衣、十二単、七五三や誕生日記念用として男児には「水干」、女児には「壺装束」などがある。

特産品開発は「めはりずし」「さんまずし」のほか、家庭に埋もれている伝統の味の発掘、地元産品を主とした新商品の考案に力を入れる。

【吉野茂毅】

結婚式、七五三、誕生日などの記念に貸し出す平安衣装
=田辺市で

本宮町商工会